

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	肝炎ウイルス患者における膵線維化：T1マッピングMRI画像による評価		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後 から 2020年3月31日		
③ 対象患者	④の対象期間中に当院の⑥の対象診療科で腹部 MRI 検査を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2017年10月1日 から2018年8月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第一内科、第一外科、第二外科、放射線科		
⑦ 研究責任者	氏名	伊東克能	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	腹部 MRI 画像、性別、年齢、糖尿病・急性膵炎・慢性膵炎・肝細胞癌・肝性脳症などの既往歴の有無、血液検査結果（総蛋白、アルブミン、AST、ALT、LDH、ALP、 γ -GTP、ビリルビン、アミラーゼ、リパーゼ）		
⑨ 研究の概要	<p>肝炎ウイルスは肝細胞と強い親和性を持っていますが、ウイルス抗原は膵臓や胆嚢などの臓器でも検出されています。例えば、B型肝炎患者の膵臓からB型肝炎ウイルスのDNAが認められ、C型肝炎ウイルスが膵腺房細胞や膵管上皮に感染したという報告もあります。また、肝炎ウイルスが膵臓で複製され、炎症反応を経て膵臓の内分泌や外分泌機能に影響を与え、膵線維化を来す可能性も示唆されています。</p> <p>本研究の目的はMRIのT1マッピングを用いて膵臓のT1値を測定し、肝炎ウイルスの有無による膵線維化の影響を検討することです。肝炎ウイルスに関連した肝障害のある患者さんと、肝炎ウイルスに関連しない患者さんとの比較を行います。肝炎ウイルスによる膵線維化の影響を知ることは、様々な膵疾患の病態と画像変化を理解するうえで重要になると考えられます。</p> <p>肝炎ウイルス以外の要素（既往歴や血液検査の結果）についても関連の有無を検討します。</p>		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2018年 10月 2日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		

⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：伊東克能		
	電話	0836-22-2285	FAX